

現場の安全確保(5S)と生産性向上 講座

日時	令和8年 10月15日(木)~16日(金) 9:30~16:30 2日間(昼休憩1時間)		
会場	鳥取県中部総合事務所 倉吉市東巖城町2-2		
講師	(株)モア・クリエイト 代表取締役 天方 健二 (あまがた けんじ) 氏 [講師プロフィール] ~1988年3月 (株)神戸製鉄所 加古川製鉄所 勤務 1988年4月~ (株)モア・クリエイト設立 代表取締役 ● 専門分野：生産管理、生産技術、工場管理手法、実現場の実改善、機械工学・材料工学・弾性学 ● ポリテクセンター関西/同加古川 セミナー講師 ● 主な現場改善企業：製鉄・鍛造、ガラス製造、重化学工業、LCD製造、大手スーパー、飲料水、特殊鋼製造、文具家具、鋼材二次加工業、LCDバックライト(台湾)、携帯LCD(フィリピン)、大型LCD(中国)、産廃処理、水道バルブメーカーなど多数		
目的	“5S”は日本内外で広く認知されていますが定着には少しの工夫が必要で、この工夫が不足して苦しんでいる例も少なくないようです。この5Sは単に作業環境の改善と維持のみでなく、安全確保は勿論のこと、品質向上や生産性向上、ひいては「一流のものづくり」にも大きな効果のある重要なマネジメント手法です。推進の要点は、①組織のトップ、統括責任者がコミットする、②全員参加で悩み事の解決策を決める、③できることを決める、④決め事を文書にし、作業は標準化する、⑤決めたらPDCAに組み込み見える化して実行する、⑥標準化した作業をルーチン化する など、トップ主導で組織を挙げて継続することが成功の要です。本講座はこれら5S推進方法を具体化しました。テキストに書かれた具体策をその通り実行すれば5Sを実現できる見通しが付きます。		
養成する能力	粘り強い取り組み姿勢と多様性の受け入れができることによる生産性の向上を実現できる能力		
締切り	令和8年 9月15日(火)15時まで	定員	15名(先着順)
受講料	7,000円/人(テキストを含む)		
持ち物	筆記用具		
申込み手続き	令和8年8月10日(火)募集開始		

講座概要

コース概要及び留意事項

- ① コースの目的
- ② これまでの改善の経験や現在の専門性の確認

現場改善の課題

- ① 5S活動定着の要件
- ② 5Sの意味、目的、コンセプト

5S推進のポイント

- ① 活動を成功に導く「5S」20ルール の策定
- ② 安全の定量化と改善目標の設定
- ③ 整理の方法と推進のポイント
- ④ 整頓の進め方 要点
- ⑤ 清掃の具体的推進法
- ⑥ 清潔の意味と定着
- ⑦ 躰の高邁な意味とゴール
- ⑧ 5Sを財産として伝承するための要点
- ⑨ 事例研究 「進め方が分からない」「意欲を維持できない」
- ⑩ 演習 明日からの新しい考え方 明日からの新しい行動

< 鳥取県中部総合事務所会場案内 >

